

中国電力株式会社 三隅発電所 2008 ECO Note

作成：2008年

三隅発電所は、省エネルギー・省資源型を目指した発電所として、石炭火力発電所では国内最高レベルの超々臨界圧発電方式を採用し、従来設備に比べて約2%の発電効率向上を図っています。1号機の出力100万kWは、発電所単機容量としては当社最大級であり、1998年6月に営業運転を開始し、電力の安定供給に寄与しています。
2008年の今年度は、営業運転開始して10周年を迎えました。



石見神楽

中国電力株式会社 電源事業本部(火力)は、コンプライアンスを最優先に、「中国電力環境行動計画」およびISO14001規格に沿った環境への取り組みを推進することとし、以下の環境方針を定める。

1. 発電設備の高効率運転と省資源・省エネルギーに努める。
2. 環境保全に関する法律、および関係自治体との協定書などを順守し、環境に与える影響の低減および環境汚染の予防に努める。
3. 廃棄物の適正処理および管理と3R対策(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に努める。
4. 環境目的・目標を定め、定期的に見直しながら環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
5. 当社の経営資源を活用し、新しい環境技術の適用や研究により、地域に密着した環境調和型総合エネルギー企業として貢献を目指す。

平成19年7月31日

中国電力株式会社
電源事業本部部長(火力)
迫谷 章

取り組み1 (お客さまとの環境コミュニケーション)

ガーデニング教室

当所のふれあいホールでは年間を通して数回開催しております。(開催の都度参加者募集)
今回、平成20年6月14日(土)に、平成20年度環境月間行事の一環として、午前・午後各1回にて応募により参加して頂いた地域のみなさまに、季節の花を用いたガーデニング教室を開催しました。講師としてお招きした益田市内の造園会社の方に、植物の植え方や手入れの仕方などの講義をしていただきました。



ガーデニング教室

電気教室(環境エネルギー)

平成20年7月15日(火)に、平成20年度の環境月間行事の一環として、浜田市立岡見小学校の4年生を対象に、環境エネルギー・電気教室を開催しました。
電気の仕組みや環境問題、エネルギーに関する内容を実験機材やアニメーションによる資料の活用により、電気・エネルギーという少しわかりにくいと思われる内容を分かりやすく説明しました。小学生からは、「電気っておもしろい!!」
「発電する仕組みってすごい」などの感想もあり、とても関心を持っていただきました。
また、終了時には、「もう終わるん?」とか「まだ実験したいっ!」などと好反響でした。

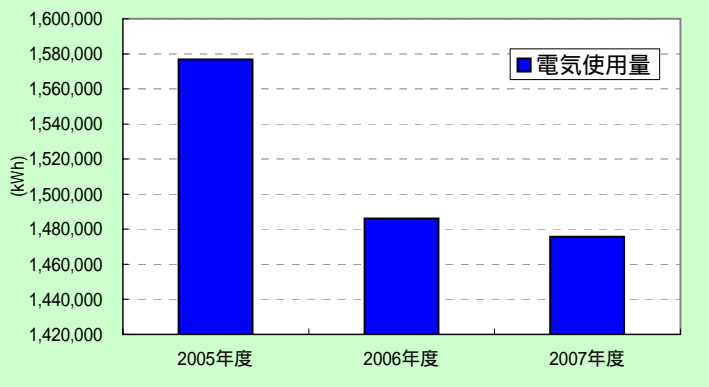


小学校での講義

取り組み2(2007年度環境管理目標達成状況)

計 画		結果	実施結果の評価 次年度目標への反映等
環境管理目標 (項目)	目標値 実施方針		
環境教育の実施	4回/年・人 ・環境管理研修会の実施	4回/年実施	・一般環境教育他教育を実施しました。
環境知識の向上	4回/年 ・環境関係国家資格の情報提供 ・環境関係法令等情報収集 ・環境関係図書購入	8回/年実施	・所属員へエネルギー管理士、公害防止管理者受検に関する情報提供を実施しています。
全社員による環境保全活動の実施	100% ・地域の清掃活動等の実施	100% (56人)	・社会福祉施設、海岸清掃ほかを計4回実施しています。
下関取水問題に対する再発防止対策	0件 (トラブル件数) ・環境監視計器の監視強化 ・測定装置故障時のバックアップ方法の整備 ・環境監視計器記録計指示値の確認 ・公害防止協定に係わる制御装置等のセキュリティ管理の強化	0件	・計器故障時の代替監視案を鳥根県と協議しました。
火力発電所熱効率の向上	43%以上 (損失法) ・発電効率の追跡管理 ・発電効率向上策の検討 ・水素ガス減圧運転による効率向上	42.69%	・燃焼炭種、海水温度、AH差圧上昇対策等の影響により、目標未達となっています。
水使用量の削減	164万t/年 以下 ・工業用水補給水量の実態把握 ・低塩系排水再利用の実態把握	160 万t/年	・適切な管理により達成しました。
事務用紙使用量の削減	449 枚/人・月 (累計) ・事務用紙使用量実態把握	469 枚/人・月 (累計)	・組織改正に伴い人員削減となりましたが、業務量の増加等で印刷枚数が増加したことにより目標を超過しました。
ワークフローシステムの推進	480件/年 ・ワークフローシステム使用推進	690 件/年	・ワークフローの有効活用により目標達成しました。
ITを活用したミーティングの推進	108回/年 ・ITを有効活用したミーティングの推進	142 回/年	・プロジェクターの有効活用により、目標を上回る結果となりました。
所内電力量の低減	5.08% 以下 ・所内電力使用量の継続管理 ・GRF回転数制御の見直し ・E P最適電率の検討	5.05%	・EPダンパ開度変更による通風系動力削減策を検討しています。
管理事務所電力量の低減	1,644,000 kwh ・管理事務所使用電力量の実態把握 ・使用電力量実績の掲示による省エネ意識の高揚 ・BTC制御室の最適な温度、湿度設定 ・エアコンのこまめな温度設定の実施 ・共通OA機器待機電力の削減 ・季節のいい時期のエアコン電源「切」	1,475,687 kwh	・帰社時のPC、個人PHSの電源プラグOFFの徹底により目標を達成しました。
4階ミーティングコーナーの有効活用	138回/年 ・4階ミーティングコーナーの有効活用	146回/年	・毎週水曜日に所内運営会議を実施するなど、目標を上回る結果となりました。
自動車燃料使用量の節約	11.3km/L ・燃料消費率の追跡管理 ・省エネ運転の実施 ・燃費のいい車の優先使用	12.3km/L	・燃費の良い社有車を優先的に使用し目標を達成しました。
石灰灰処分量の削減	1回/半期 ・石灰灰品位の分析把握の継続	2回/年実施	・石灰灰、燃えがら(矽灰)、汚泥の分析を実施し、全て基準値以内を確認しました。
石膏処分量の削減	1回以上/月 純度95%以上 含水率10%以下 ・石膏品位(純度、含水率)の分析把握の継続	1回/月実施	・毎月分析を実施し、目標値以内を確認しました。
EP適正運転による石膏の黒化防止(運用実施)	50mg/m3N以下 (平均値) ・E P適正運転による石膏の黒化防止(運用実施)	50mg/m3N 以下 (平均値)	・日常管理を実施し、目標値以内を確認しました。
建設廃材処分量の削減	81%以上 1回/月 ・建設廃材等の有効利用率実績把握	99.9%	・適切な管理により達成しました。
事務用品類のグリーン購入比率の向上	85%以上 ・IT商品の優先的購入(事務用品類のグリーン購入) ・グリーン購入の検討、購入	93/117 (79%)	・非対象である枠印やハルを購入したため、目標値を下回りました。
環境・エネルギー教育支援活動の推進	1回/年 ・近隣小学校への環境教育の実施 ・環境講演会の実施 ・環境レポートの作成	各1回実施	・小学校への出前授業を行いました。 ・社会福祉協議会への環境講演(2回)を行いました。 ・環境レポートの内容一部更新しました。

エコオフィス電気(オフィスのみ) 使用量



エコオフィスの取り組みとして、電子承認の積極的使用や、コピー時の裏面用紙の活用により、一人あたりの事務用紙使用量削減に努めています。今後も継続して削減に努めてまいります。

